

剣詩舞京都凱涼会の紹介 その2 佐藤凱涼仙

今回は、私と「詩吟」との出会いのお話をします。私は家の事情で中学を卒業して働くことになり、就職係の先生の紹介で「宇都宮女子商業高等学校」の事務職募集に応募することになりました。愛嬌もない生徒なので学校ならと思われたと思います。その時、面接をしてくださったのが上野秀文校長先生、現在参議院議員の上野通子さんのお父様でした。校長先生は、私の話をゆっくり聞いてくださって、創立校長の意思で奨学生を募集しているので受験するように勧められ、私も高校へは行きたかったので家に内緒で受験し、合格しました。そして、特待生として授業を受け、学校が終わったら姉妹校の育英高校で事務見習いとして少しばかりですがお給料をいただきながらの高校生活が始まったのです。入学した高校には「吟詠部」という部活があり、クラス対抗の吟詠試合がありました。昭和32年のことです。副校長先生(校長先生の弟さん)が詩吟がお好きで部活を作られたそうです。私に何回も「吟詠部」の入部を勧められましたが二年間お断りしていました。二年生の終わりのころ、『今日は、詩吟のNHKの全国コンクールで日本一になられた先生をお呼びしているので、体育館で生徒さんと一緒に聞くように』と言われ、初めて素晴らしい「詩吟」というものをお聞きしたのです。その後、三年生になると『一年だけでも吟詠部に入ってくれないか』と副校長先生に言われまして、さすがの私も一年ぐらい「吟詠部」をやってみようかと入部しました。ところがそこで吟詠部の部長に任命されたのでした。すでに部長さんも決まっているのに横滑りしてきた何も知らない部長。『何か詩吟をやってみて!』など、一年間いじられました。が、校長先生と副校長先生のお二人が、私を吟詠剣詩舞道界に導いてくださったのでした。

吟士権者決定大会の出場者が決定

9月10日に予定されている第31回吟道賀堂流吟士権者決定大会の出場者が決定しました。出吟者の皆さんは長岡京吟詠会の代表として持てる力を存分に発揮してください。

- 一部 後藤洋子、吉岡美保、和島一行
- 二部 西迫宗文
- 三部 安藤千津子、市丸知佐子、尻枝利孝、橋本孝司
- 四部 長尾健治、山室昭夫、田中俊二郎
神戸邦治、増井一博(男子合吟)
- 五部 辛嶋 勝、米山裕子
- 招待者吟詠 年少者 高橋拓来、高齢者 今村和子
前年度優勝 森川洋子、米山裕子、森田秀雄
(敬称略 事務局)

大会審査員研修会報告

4月23日、令和5・6年度の賀堂流吟士権大会審査員候補者の研修会が行われました。近畿本部、中国本部、京都本部から合計22名の審査員候補の先生方が集まり、熱心に研修を受けられました。「吟士権大会」に出場される会員の皆さんの吟を、正しく、公平に、そして納得のいく審査を行っていただくための研修会です。

研修内容は、はじめに漢詩・和歌・俳句の審査基準、審査のポイントを共有する勉強を行い、その後参加された審査員の先生方による大会指定吟の吟詠をいただき、指定吟の注意点、評価ポイントを統一しました。

最後は、10人のモデル吟士の吟(テープ)を具体的に採点し、全員の採点結果表を、全員で見ながら、各自の採点の根拠や自分の問題点を発表することで、各自の審査基準の公平性と正確さを高めていただきました。厳しい研修でしたが、一生懸命「吟士権大会」のために稽古をされる出吟者の皆さんが納得いただける審査を期待できる研修でした。

(本庄賀秀峰)



私と長岡京吟詠会の出会い 森田賀秀蒼

平成25年1月(67歳)入会以来、早10年が経ちました。きっかけは、定年後の第二の人生として鍼灸師の道を歩み、仕事も少し落ち着き始めた頃、ストレス解消と、体力維持に向け、過去に少しかじったことのある詩吟を思い出し、吟詠法に研究熱心な、高橋賀秀正先生(会社時代の同期生で友)の門をたたいたことです。又、以前に府連の1部コンクールで吟士権者になられました、横山先生の素晴らしい優勝吟を聴き、深く感動した記憶も相まって入会しました。自身は、特に幕末史に興味があり、住まいの京都を散策すれば、歴史上の人物や、漢詩、和歌に触れることができる喜びをかみしめ乍ら、どう诗情表現に生かすかを頭に置き、少しでも吟に生かしたいと思っています。これからも、一吟一詠を大事にしながら、吟詠力の向上や他人から「もう一回聞きたいなあ!」と言ってもらえるような詩吟にチャレンジしたい今日この頃です。



R5/6・7月の予定

- 6/ 3(土)【府連審査員研修①】
18:00～ 京都アスニー
- 6/ 4(日)【クラウン吟詠コンクール】
尼崎市総合文化センター
- 6/11(日)【府連1部/シニア/ジュニア吟士権大会】
9:30～ ラポール京都
- 7/ 1(土)【府連審査員研修②】
18:00～ 京都アスニー
- 7/ 9(日)【府連二部指導者級吟士権大会】
9:30～ ラポール京都
- 7/16(日)【全国剣詩舞コンクール近畿大会】
尼崎市総合文化センター
- 7/23(日)【愛連ジュニア・シニア決勝吟士権大会】
尼崎市総合文化センター (事務局)

詩吟の基礎技術 その9

高橋賀秀正

■吟詠における声の支え方

「声の支え」＝「息が無駄に出て行かない状態」を作ること

- (1)横隔膜には二つの役割があります。一つは、空気(息)を吐き出したり、吸ったりする機能、もう一つは、支える機能です。この支える機能によって、脱力やプレスコントロールなど様々な働きが可能になります。
- (2)横隔膜を張る状態のことを、「支え」と呼びます。
- (3)息を吸い過ぎたり、力を入れて声を支え過ぎないことが重要です。これらの事をやり過ぎることによって、発声を困難にしている方はかなり多いと思います。例えば、高音の課題を抱えている方は、その原因にこのやり過ぎがあります。特に、本来高音を音域としては持っていて、発声練習や、部分練習では出るのに、始めから通して歌うと出ないという場合は、このケースが多いようです。
- (4)息を吸い終わって、放っておくと今度は息が吐かれ始めますが、吸い終わった息を吐かないで息を止めてみます。そうすると、腹部の上部(肋骨の最下部を線で結んだあたり)に抵抗を感じ、少しだけ自然に力が入る部分があります。その位置が横隔膜で、感じている力は、吸った息が外へ出ないように保っているために生じています。これが横隔膜による声の支えの基本です。

「声の支え方の練習」

- ① 息を吐き、お腹がへこむのを確認してください。
- ② その後、ゆっくりへこんだお腹を戻すように息を身体に入れていきます。
＜①、②の繰り返しは腹式呼吸の基本です＞
- ③ 息を入れたら吐き出さずに、お腹がへこまず、息も出ていかない状態をつくります。
- ④ そのまま5秒程度保ってみます。
- ⑤ 保った状態をしっかり確認し、横隔膜を下方に徐々に押しながら支えを保ちながら息をゆっくりと吐いていきます。
＜①から⑤を繰り返し練習してください＞

声の支え方の要領は頭で覚えるのではなく、体で覚えることが重要です。逆腹式呼吸法と組み合わせて練習してください。

今年も「公サ連祭り」に出吟



公民館サークル連絡協議会、略して「公サ連」は、所属する長岡京市の34の文化サークルが中央公民館を活動拠点として、日々自主的に活動しています。

そして毎年5月の「公サ連祭り」では、日ごろの練習成果を発表しています。市民の集いの場所「公民館」でみんなが集い、学びあい、サークル活動を通して仲良く元気なひと時を過ごしています。

今年も5月21日に「第32回公サ連祭り」が開催され、長岡京吟詠会から

- ・三輪さん(漢詩『立山を望む』)
- ・福島さん(和歌『五月雨の』)
- ・櫻澤さん(和歌『夕ざれば』)
- ・市丸さん(漢詩『常盤児を抱くの図に題す』)
- ・前原さん、坂本さん(今様・詩『菅公』)

が出吟され、のびのびと良い声で吟じられました。ナレーションは、横山先生、市丸先生に担当していただきました。来年も会員の皆さんに出吟頂きますのでぜひ応援にお越ください。(湯浅賀秀恭)

シリーズ「クラブ紹介」その12
【わかたけ詩吟クラブ】

長尾賀秀剣

阪急西向日駅西口より徒歩で数分にある西向日コミュニティセンターで毎月第2と第4火曜日の10時から12時まで稽古をしています。参加者は毎回5名です。まず、用意したプリントでその日の稽古内容と連絡会等での報告事項の確認徹底をします。続いて発声練習、早口言葉などを行い、長岡京吟詠会詩を全員で合吟をします。その後、全員の共通の課題吟を素読し合吟をしてから一人一人がその吟を独吟してお互いに合評します。ここでいっぷく！後半、各自が温めている吟の独吟の稽古です。発表会の吟だったり、昇格審査の吟だったり、十八番の吟などの研修です。独吟はいつも起立して行います。ここでも気付いたことを自由に指摘し合います。賀堂流の譜節が正確で、気持ち良く吟じることを大切にしております。

毎年春にはクラブ主催の発表会をし、秋は西向日コミュニティセンターの文化祭に出場、その他の催し物にも参加をしています。今年は、花が散り始めた4月2日(日)に第4回発表会を開催し、11人の出吟で26番の発表をしました。お客さんは2名でした。番外編では尺八の生演奏で、「古城を聴く」と「武田節を聴く」を全員で合唱してお開きしました。

私たちのクラブでは、「楽しく！」をモットーに吟詠を生活の一部とし、人生を豊かにする生涯学習として、少しでも向上したい思いで稽古に励んでいます。今後ともご支援をよろしくお願ひいたします。



『ぎんまい長岡京』 編集室
編集委員長 尻枝賀秀道
編集委員 市丸、櫻澤、後藤、宮小路
※連絡・問合せ先 尻枝賀秀道
Tel: 075-954-9092